

令和5年6月1日
一関楽走会

第73回全国植樹祭いわて2023 応援駅伝

第73回全国植樹祭いわて2023が6月4日陸前高田市で開催されるのを機会に、この気運を高めようと一関楽走会は6月1日に駅伝を行い、一関市から陸前高田市まで61.5km、12区間を櫛リレーで走りました。コースは一関市役所～一関大東線～国道343(笹ノ田トンネル～ループ橋)～陸前高田津波伝承館。



一関市役所庁舎前で出発式を行い、一関市長より激励の言葉をいただきました。また、参加ランナーを代表して小野寺知夏さんが「元気よく走って盛り上げてきます」と力強く宣誓を行いました。



一関市スポーツ振興課平石課長のスタート合図で、午前8時全員で賑やかにスタートしました。
第1区走者の菊田和夫さんを先頭にサポート隊が伴走。(右写真)





第2区走者は柴山東治さん。狐禅寺から舞川までの登りが続く険しい区間でした。

産直「あいあい」前を沿道の声援を受けて柴山さんは爆走しました。

第3区走者は小野寺知夏さん。元気に手を振る余裕。伴走者は齋藤祐二さんと2区から引き続き柴山東治さん。



東山町のセメント工場を背景に、駆抜けるランナーと沿道で応援する平井恒雄さん。



第4区走者は小野寺良信さん。狓鼻溪の少し先のコンビニから長坂小田バス停までの起伏ある区間でしたが、余裕の走りでした。柴山東治さんは連続での伴走。



第5区走者は細川慎一さん。東山町長坂から大東町摺沢まで。伴走者は畠山真佐実さんと大越昭夫さん。快晴に恵まれたものの少し風があり、旗持ち伴走者は大変でした。



第6区走者は小野寺仁さん。大東町摺沢の木工団地入り口から大原小学校前まで。100kmマラソンに挑戦している仁さんには全くの余裕でした。

襷の受け渡しは第7区走者、菅原孝一さんへ。7区はコース最大の難所、笹ノ田トンネルまで。ここからいよいよ厳しい峠道へと向かいます。この区間に指名されて大変うれしそうでした。さすが山岳トレイルで鍛えている菅原さんでした。

第8区走者は佐藤文政さん。笹ノ田トンネルから陸前高田市に入り、ループ橋下まで一気に下る高速コース。83歳の最高齢者を感じさせない走り、山登りを務めた菅原孝一さんと何度も旗持ちを務める柴山東治さんを従えて軽快に下りました。



第9区走者は齋藤祐二さん。この事業の企画、準備を中心になって進めました。満面の笑顔で走り抜けました。

伴走者は前区間を走った佐藤文政さん、元気いっぱいです。





第10区走者は阿部隆さん。15区公民館から矢作住建前まで。だいぶ平地まで降りてきました。伴走はいらぬとばかり、独走で快調に飛ばしました。月間走行距離はコンスタントに300km越えです。

第11区走者は大越昭夫さん。矢作住建前から気仙川橋まで。元気な阿部隆さんの先導で、後ろは佐藤文政さんがサポート。天照御祖神社の前を通過。



第12区走者は畠山真佐実さん。この最終区間では大船渡アスリートクラブの2名が合流し、気仙川橋からゴールの東日本大震災津波伝承館まで一緒に走りました。道路案内にはゴール場所の看板が見えてきました。





到着予定時刻の15時より少し早く、高田松原海岸の東日本大震災津波伝承館にゴールしました。ゴール直前には共催者の大船渡走友会の会員4名も合流し、全員でゴールテープを切りました。



岩渕吉郎さん、平井恒雄さんも応援同行ありがとうございました。

到達式では一関楽走会佐藤東会長、大船渡走友会千葉大三郎副会長から挨拶がありました。

また、陸前高田市長より歓迎の言葉をいただき、出席いただいたスポーツ交流推進室、村上知幸室長より代読、ご挨拶いただきました。

